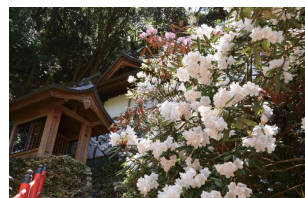




みやまの
みどころ 3 自然

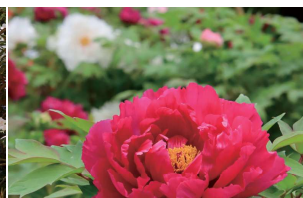
有明海

市の南西部が面している有明海は、九州最大の湾。日本で最も広い干潟や独自の生物相で有名です。豊かな水産資源に恵まれ、のり養殖も行われており、日没時には美しい夕景が望めます。



しゃくなげ祭

「しゃくなげ寺」とも呼ばれる八雲会奥之院で、4月に行われます。供養花として植栽されたのが始まりで、白やピンクのしゃくなげ約1,000株が境内に咲き誇り、訪れる人々の目を楽しませます。



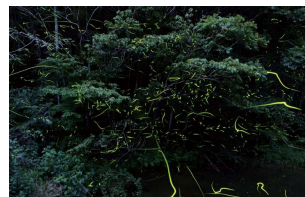
清水山ぼたん園

町と地域住民が一体となり開園された、九州最大級の広さを誇る約3,000㎡の回遊式庭園。ぼたん祭りが4月中旬から下旬に開催され、約50種を超える牡丹の花が色鮮やかに咲き乱れます。



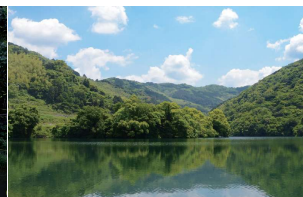
上楠田天満宮のオオフジ(市指定天然記念物)

石神山古墳の近くにある上楠田天満宮の境内には、樹齢300年以上と推定される大藤が。毎年4月中旬から5月上旬になると、甘い香りを漂わせながら、薄紫色の美しい花を咲かせます。



蒲池山ため池上流のホタル

蒲池山ため池の周辺は、水と空気的美しさからホタルの生息地に。上流付近では5月下旬から6月上旬にかけて、ゲンジボタルの幻想的な光の乱舞が見られ、夏の風物詩となっています。



蒲池山ため池 (ため池百選)

享保2(1717)年、柳河藩の普請役・田尻惣馬が延べ7万6千人の手を要して完成させたという灌漑用の大きな貯水池。現在も地域の農業に欠かせない存在として、恵みを与え続けています。



山川の座敷梅

西日本最大の盆栽梅産地である山川町で行われる、古き良き日本の伝統を守る観梅会。梅の花の盆栽がお座敷にズラリと並べられた様はまさに豪華絢爛。辺りは清々しい香りに包まれます。



長田のイチヨウ(県指定天然記念物)

老松神社の社殿建立の際に植栽された御神木で、古くから「いちょうの木」の愛称で呼ばれています。根元は1本で、幹は7本に分かれており、根元周囲の長さ(11.6m)は福岡県内のイチヨウの中でも最大級といわれています。



清水公園の桜

清水山の中腹にあり、見晴らしの良い清水公園。周辺に見どころも多く、散策に最適です。4月上旬には約1,900本の桜が満開になる、市の代表的な桜の名所で、毎年大勢の花見客で賑わいます。



清水寺本坊庭園(国指定名勝)

室町時代に雪舟が、中国で学んだ山水技術を生かして造ったと伝えられている園指定名勝庭園。愛宕山を借景とし、春は新緑、秋は紅葉など、四季折々に趣のある表情を見せてくれます。



九州オルレ

「みやま・清水山コース」は、女山史跡森林公園から清水寺を経由し、道の駅みやまへと向かう、全長約11.5kmのトレッキングコース。悠久の歴史を感じる古刹や四季折々の自然に癒されます。



新舟小屋のクスノキ林(国指定天然記念物)

矢部川沿いの中ノ島公園に樹齢300年以上の大楠があり、森林浴が楽しめます。元禄時代に柳河藩主の命を受けた田尻惣助とその子惣馬が治水のために植えたのが始まりです。



お牧山公園

市の最高峰(標高405m)で山頂からの展望は抜群! 周りを見渡せば、阿蘇山、筑紫平野、佐賀平野、脊振連峰、有明海、雲仙普賢岳と、360度のパノラマビュー。バンガローでキャンプも。